

# 令和5年度 第2回 神奈川県立二宮高等学校学校運営協議会 議事録

日時 令和5年 11月 16日(木)15:30～16:40

会場 神奈川県立二宮高等学校(南棟2階 会議室)

議長 会長

司会 副校長

## 参加者

### 委員

山本 正博	地域代表・緑が丘地区長
関口 正美	地域代表・一色地区長
中西 美保	二宮町立一色小学校 校長
藤田 和人	二宮町立二宮西中学校 校長
杉崎 雅子	学識経験者・小田原短期大学 保育学科准教授
椎野 文彦	二宮町教育委員会 教育部長
二見 敏夫	地域行政担当者・二宮高等学校同窓会会長
巻上 浩昭	二宮高等学校 PTA会長
猪俣 聡	二宮高等学校 校長

### 学校

副校長	神野 伸
教頭	武田 素行
事務長	佐藤 直広
総括教諭(学習支援G)	神谷 雅彦
総括教諭(生徒支援G)	小山 健太郎
学校管理G 代理	山口 卓
総括教諭(進路支援G)	浦井 進
総括教諭(生活指導G)	山崎 勇
インクルーシブ教育推進G 代理	飯川 裕太
事務局(学校管理G)	磯崎 幸彦
	坂元 孝子

## 次第

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議 事

(1)各グループより中間報告(資料P6～17)

・学習支援グループ(資料P6～8)

7月から12月までの活動報告

授業改善プログラムの実践では中学校への案内をしている。

授業の相互見学を実施した。

- ・生徒支援グループ(資料P9～10)
  - 学校説明会を本校で実施し直接学校を知ってもらっている。
  - コロナが明け生徒活動の場が増加した。
  - お世話になっている地域への貢献活動を実施する。
  - 神奈川新聞・ケーブルTVで学校紹介報道があります。
  - 部活動では弓道部・剣道部の活躍があった。
  - 中学校との交流が増加しているがさらに深めたい。
  - 文化祭に800名を超える来場者があった。
  - コロナの経験をこれからの活動に生かしたい。
- ・進路支援グループ(資料P11～12)
  - 社会に貢献できる生徒を目指している。
  - 指定校の枠が増加している。
  - 大学 61 名 短大 9 名 専門学校 67 名の進路が決定している。
  - 就職の求人が増加し 300 件を超えている。
  - 就職希望 17 名の内 12 名が決定している。
  - 現時点で 75 名の進路未定者がいる。
- ・学校管理グループ(資料P13～15)
  - 防災訓練では住所地別に生徒を集め危険情報を共有した。
  - 当日、二宮町防災担当者にも参加して頂いた。
  - 交通安全活動では地域との協力を深めていきたい。
- ・生活指導グループ(資料P15)
  - 各種指導で苦慮することが多い。
  - トラブルを避ける指導をしている。
  - 指導方針を明確にしたい。
  - 交通安全指導では地域の見守りに対して感謝します。
  - 声を上げることができない生徒に対するサポート事業を行っている。
  - 教員に対して貧困をテーマにした研修を行った。
- ・インクルーシブ教育推進グループ(資料P6～8)
  - インクルーシブ教育は4年目を迎え関心・注目が集まっている。

(2) 不祥事ゼロプログラム中間報告について(副校長より説明)

毎月、研修を実施し意識を高めている。  
若い教員に対しては校長面談により意識高揚を図っている。  
教員相互の交流により防止できている。

(3) コミュニティースクール説明会について(副校長より説明)

文書を配布しアンケート回答を依頼した。

(4) 質疑応答・発言

問 自転車通学者のヘルメット着用はどうなっているか。

回答 着用は努力義務であるが、今後の指導の課題として挙げている。

問 コミュニティースクールのアンケートの意図は何か。

回答 コロナで重要性が増した地域の意見を学校運営に反映するために行う。

問 インクルーシブ教育の浸透状況はどうか。

回答 一般募集の生徒と特別募集の生徒が区別なく学校生活を送っている。  
視覚を重視してICT活用授業を教員が実践している。

問 インクルーシブ教育の課題は何か。

回答 障がい者枠雇用希望者がいる中で企業とのつながりが薄い。  
IT授業の充実がまだ図られていない。

発言 授業改善プログラムは良い取り組みであると思う。

一般・特別の区別なく苦手な点をすべての教員で支援してほしい。

小学校もインクルーシブ教育を行っているので交流を増やしていきたい。

小学校のスマイルアート展に高校生の参加を希望する。

中学生も含めて生徒が指導を受け入れにくい状況であるが時間をかけて  
一緒に考えていきたい。

自分たちで考えてメリハリがついた行動ができればよいと思う。

日々創意工夫して指導に取り組んでいることに感謝する。

創立50周年にむけて準備を考えて頂きたい。

#### 4 次回予定

第3回学校運営協議会 令和6年3月上旬 予定